

無料開催セミナー

zoomオンラインセミナー

セミナー録画配信サービス付き

事例から学ぶ

介護福祉施設の防犯体制強化策

－防犯体制を外部に見せる対策を－

今から9年前の2016年7月26日、相模原市の障害者施設で、暴漢が侵入し19名の入所者を刺殺し、26名が重軽傷を負う痛ましい事件が発生しました。近年、確たる動機の無い無差別的犯行が増加する中で、介護福祉施設が再び狙われる可能性は否定できません。また、先月立川市の小学校で、暴漢が小学校に乱入して教師に暴行する事件が発生し、またもや小学校の防犯体制が問題となりました。地域に開かれた福祉施設と厳しい防犯体制は矛盾する問題ですが、「この施設は防犯体制が厳しい」と外部から見えることは抑止力として重要です。本セミナーでは、「見せる防犯体制」の方法をご紹介します、不審者侵入時の対応策などを考えます。ご参加の方には「不審者侵入時の対応マニュアル（動画付き）」を差し上げます。

セミナーの概要

1. 相模原障害者施設事件の検証

犯行予告までありながらそれでも防げない犯行

2. 法務省法務部報告に見る無差別殺傷事犯の分析

理解できない動機・狙うのは弱者・自殺願望

3. あの事件以来小学校の防犯体制は変わった

“さすまた”で児童を守ろうとした職員たち

4. 実態調査でわかった防犯体制の問題点

外部から無防備に見えることの問題

5. 介護福祉施設の防犯体制見直しの具体策

侵入防衛策、機械警備の限界と活用策

6. 犯人と遭遇した職員の対処方法は？

さすまたでは取り押さえられない

逃げる・施設内に知らせる・警察に通報

2. 防犯カメラやセンサーは抑止力として使う

防犯カメラのモニターを24時間監視することはできない

不審者が侵入を諦めるように見せることが大切



もしエントランスにこんな貼り紙があったら

防犯体制強化のご案内
このたび当施設では、
当局の指導により
防犯体制を強化しました。



防犯カメラが不審者を検知すると、自動的に外部に通報されます。ご注意ください。

職員の使命は不審者を取り押さえることではない

不審者遭遇時の職員の心得

- つかまらず逃げる
- 施設全体に知らせる
- すぐに警察に通報する



① 逃げる（絶対に捕まらない）

職員がつかまれば多数の利用者が犠牲になる。たとえ他の職員が拘束されても、独りだけであっても逃げて知らせる。

② 施設内に知らせる

施設内の警備員や他の職員に緊急事態を知らせ、迅速に警察への通報につなげる。館内放送に自動的につながる非常ブザーなどが有効。

③ 警察・消防に通報する

施設内での通報が無理な場合は、近隣の協力をお願いして通報する

◎ 犯人が迫っている場合は火災報知器を押す！

安全介護セミナー開催要領

■開催日時：7月16日13:30～15:00

■講師：株式会社安全な介護 代表 山田滋

■受講方法：Zoomによるオンライン受講

■提供資料：テキスト（手持ち資料）・お役立ちツール

■申し込み方法：右記QRコードより申込フォームを入力。
又は、申込書にご記入のうえ、メールでお申込みください。
後日、ZOOMのURLが届きます。

申込フォーム



セミナーに関するお問い合わせは

有限会社オフィスブレイン 事務局

mail:info@officebrain.co.jp

介護福祉施設の防犯体制強化策 セミナー参加申込書

宛 先

令和 7年 月 日

有限会社オフィスブレイン

送付枚数：1枚（本紙のみ）

担当者：佐々木

FAX番号：011-207-2523

※ 日付・下記をご記入の上、本紙のみご送信ください。

必要事項

法人名・施設名・住所・電話番号・参加者名（複数で受ける場合は全員分）
・役職・E-mailとなっておりますのでよろしくお願いいたします

法人名		施設名	
住 所	〒	電話番号	
参加者名①		役 職	
アドレス			
参加者名②		役 職	
アドレス			
参加者名③		役 職	
アドレス			

<お客様情報のお取り扱いについて>

ご記入いただきました内容は、オフィスブレインからの各種商品・サービスのご案内、及び各種情報提供・運営管理に活用させていただきますのでご了承ください。